

秦佐八郎 （幼名、 細菌學者、醫學博士。明治二十年二月二十一日島根縣
 生れ、昭和十二年十一月二十一日歿（七十三歳）。舊姓山根。明治
 二十八年第ニ高等學校第ニ部（醫科）卒。二十一年傳染病研究所に入
 り北里榮ニ郎ニ師事。四十二年ドイツ留學、四十二年師のエイムリツヒ
 と共に梅毒等ススピロヘータ感染症の療法劑サルバルサンの創成に成功
 世界的脚光を浴びる。大正二年北里研究所理事、九年慶應義塾大學教
 授、昭和八年帝國學士院會員。

文獻、マルタ・マルケワルト著、近藤忠雄譯「エイムリツヒ博士の思
 ひ出し人及び研究者としての」パウエル・エイムリツヒ（昭和十八年）
 月十五日本水社。秦佐八郎「フランクフルトの思出し」附載、秦八千
 代著「秦佐八郎小傳」（昭和二十七年）二月十日北里研究所等。

